

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和4年9月15日(2022.9.15)

【国際公開番号】WO2020/053655

【公表番号】特表2022-500435(P2022-500435A)

【公表日】令和4年1月4日(2022.1.4)

【出願番号】特願2021-514091(P2021-514091)

【国際特許分類】

A 61K 31/437(2006.01)

10

A 61K 31/5025(2006.01)

A 61P 43/00(2006.01)

A 61P 35/00(2006.01)

C 07D 471/06(2006.01)

C 07D 471/04(2006.01)

【F I】

A 61K 31/437

A 61K 31/5025

A 61P 43/00 121

A 61P 35/00

20

C 07D 471/06

C 07D 471/04 107A

【手続補正書】

【提出日】令和4年9月7日(2022.9.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項1】

乳がんの患者を治療するのに使用される、1-ベンジル-6-(3,5-ジメチルイソオキサゾル-4-イル)-N-メチル-1H-イミダゾ[4,5-b]ピリジン-2-アミン(化合物I)、1-ベンジル-6-(3,5-ジメチルイソオキサゾル-4-イル)-1H-イミダゾ[4,5-b]ピリジン-2-アミン、およびその薬学的に許容可能な塩/共結晶から選択されるBETプロモドメイン阻害剤であって、第二の治療剤と組み合わせて投与される、BETプロモドメイン阻害剤。

【請求項2】

BETプロモドメイン阻害剤が化合物Iであり、ここで該BETプロモドメイン阻害剤が化合物Iの形態Iのメシリ酸塩/共結晶であってもよい、請求項1に記載の使用のための阻害剤。

【請求項3】

第二の治療剤がPARP阻害剤であり、該PARP阻害剤がタラゾパリブであってもよい、請求項1または2に記載の使用のための阻害剤。

【請求項4】

さらにチェックポイント阻害剤と共に投与される、請求項3に記載の使用のための阻害剤。

【請求項5】

乳がんがトリプルネガティブ乳癌(TNBC)である、請求項1~4のいずれか一項に

50

記載の使用のための阻害剤。

【請求項 6】

対象が以前に乳がん療法の治療を受けたことがあり、ここで該乳がん療法が化学療法または免疫療法である、請求項1～5のいずれか一項に記載の使用のための阻害剤。

【請求項 7】

対象が以前にP A R P 阻害剤での治療に対して疾患の進行を示したことがある、請求項1～6のいずれか一項に記載の使用のための阻害剤。

【請求項 8】

対象がヒトである、請求項1～7のいずれか一項に記載の使用のための阻害剤。

【請求項 9】

乳がんの対象が、一方または両方の生殖系列変異B R C A 1およびB R C A 2を有する、請求項1～8のいずれか一項に記載の使用のための阻害剤。

【請求項 10】

乳がんの対象が、生殖系列変異B R C A 1またはB R C A 2を有しない、請求項1～8のいずれか一項に記載の使用のための阻害剤。

【請求項 11】

乳がんの対象が、B R C A 1またはB R C A 2のいずれかに、あるいはB R C A 1およびB R C A 2の両方に体細胞変異を有する、請求項1～8のいずれか一項に記載の使用のための阻害剤。

【請求項 12】

乳がんの対象が、A T M、C H E K 2、N B N、P A L B 2、A T R、R A D 5 1、R A D 5 4、D S S 1、R P A 1、C H K 1、F A N C D 2、F A N C A、F A N C C、F A N C M、B A R D 1、R A D 5 1 C、R A D 5 1 D、R I F 1、およびB R I P 1を含む、相同組換え(H R)遺伝子に1または複数の体細胞変異、または生殖系列変異を有する、請求項1～8のいずれか一項に記載の使用のための阻害剤。

【請求項 13】

対象が、相同組換え(H R)-プロフィシエントとして特徴付けられる腫瘍を有する、請求項1～8のいずれか一項に記載の使用のための阻害剤。

【請求項 14】

前記対象が、相同組換えデフィシエント(H R D)として特徴付けられる腫瘍を有する、請求項1～8のいずれか一項に記載の使用のための阻害剤。

【請求項 15】

1 - ベンジル - 6 - (3 , 5 - ジメチルイソオキサゾル - 4 - イル) - N - メチル - 1 H - イミダゾ[4 , 5 - b]ピリジン - 2 - アミン(化合物I)および1 - ベンジル - 6 - (3 , 5 - ジメチルイソオキサゾル - 4 - イル) - 1 H - イミダゾ[4 , 5 - b]ピリジン - 2 - アミンおよびその薬学的に許容可能な塩または共結晶から選択される化合物が、用量制限毒性として血小板減少症を引き起こすことなく、P A R P 阻害剤と共に投与され、ここで該P A R P 阻害剤がタラゾパリブであってもよい、請求項1に記載の使用のための阻害剤。

10

20

30

40

50